

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本ダイカスト協会(JDCA)/財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって **JIS H 5302:2000** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/FDIS 3522:2006, Aluminium and aluminium alloys—Castings—Chemical composition and mechanical properties** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS H 5302 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (参考) 使用部品例

附属書 2 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 種類及び記号.....	2
4. 材料.....	3
5. 品質.....	3
6. 形状, 寸法.....	5
7. 試験.....	5
7.1 分析試験.....	5
7.2 機械試験.....	5
8. 検査.....	5
9. 表示.....	5
10. 報告.....	5
附属書 1 (参考) 使用部品例.....	6
附属書 2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表.....	9

アルミニウム合金ダイカスト

Aluminium alloy die castings

序文 この規格は、2006 年に発行された **ISO/FDIS 3522**, Aluminium and aluminium alloys—Castings—Chemical composition and mechanical properties を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 2 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、アルミニウム合金を使用したダイカスト（以下、ダイカストという。）について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO/FDIS 3522:2006, Aluminium and aluminium alloys—Castings—Chemical composition and mechanical properties (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0403 鋳造品一寸法公差方式及び削り代方式

JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則

JIS H 1305 アルミニウム及びアルミニウム合金の発光分光分析方法

JIS H 1306 アルミニウム及びアルミニウム合金の原子吸光分析方法

JIS H 1307 アルミニウム及びアルミニウム合金の誘導結合プラズマ発光分光分析方法

JIS H 1352 アルミニウム及びアルミニウム合金中のけい素定量方法

JIS H 1353 アルミニウム及びアルミニウム合金中の鉄定量方法

JIS H 1354 アルミニウム及びアルミニウム合金中の銅定量方法

JIS H 1355 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマンガン定量方法

JIS H 1356 アルミニウム及びアルミニウム合金中の亜鉛定量方法

JIS H 1357 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマグネシウム定量方法

JIS H 1358 アルミニウム及びアルミニウム合金中のクロム定量方法

JIS H 1359 アルミニウム及びアルミニウム合金中のチタン定量方法

JIS H 1360 アルミニウム及びアルミニウム合金中のニッケル定量方法

JIS H 1361 アルミニウム及びアルミニウム合金中のすず定量方法

JIS H 1366 アルミニウム及びアルミニウム合金中の鉛定量方法

JIS H 2118 ダイカスト用アルミニウム合金地金

JIS H 2211 鋳物用アルミニウム合金地金

3. 種類及び記号 種類及び記号は、表 1 による。

なお、ダイカストの使用例は、**附属書 1 (参考)** に示す。

表 1 種類及び記号

種類	記号	参考	
		合金系	合金の特色
アルミニウム合金ダイカスト 1 種	ADC1	Al-Si 系	耐食性、鋳造性がよい。耐力が幾分低い。
アルミニウム合金ダイカスト 3 種	ADC3	Al-Si-Mg 系	衝撃値及び耐力が高く、耐食性も ADC1 とほぼ同等で、鋳造性が ADC1 より若干劣る。
アルミニウム合金ダイカスト 5 種	ADC5	Al-Mg 系	耐食性が最もよく、伸び、衝撃値が高いが、鋳造性が悪い。
アルミニウム合金ダイカスト 6 種	ADC6	Al-Mg-Mn 系	耐食性は ADC5 に次いでよく、鋳造性は ADC5 より若干よい。
アルミニウム合金ダイカスト 10 種	ADC10	Al-Si-Cu 系	機械的性質、被削性、鋳造性がよい。
アルミニウム合金ダイカスト 10 種 Z	ADC10Z	Al-Si-Cu 系	ADC10 より耐鋳造割れ及び耐食性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト 12 種	ADC12	Al-Si-Cu 系	機械的性質、被削性、鋳造性がよい。
アルミニウム合金ダイカスト 12 種 Z	ADC12Z	Al-Si-Cu 系	ADC12 より耐鋳造割れ及び耐食性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト 14 種	ADC14	Al-Si-Cu-Mg 系	耐摩耗性がよく、湯流れ性がよく、耐力が高く、伸びが劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si9 種	Al Si9	Al-Si 系	耐食性がよく、伸び、衝撃値も幾分よいが、耐力が幾分低く、湯流れ性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si12Fe 種	Al Si12(Fe)	Al-Si 系	耐食性、鋳造性がよい。耐力が幾分低い。
アルミニウム合金ダイカスト Si10MgFe 種	Al Si10Mg(Fe)	Al-Si-Mg 系	衝撃値及び耐力が高く、耐食性も ADC1 とほぼ同等で、鋳造性が ADC1 より若干劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si8Cu3 種	Al Si8Cu3	Al-Si-Cu 系	ADC10 より耐鋳造割れ及び耐食性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si9Cu3Fe 種	Al Si9Cu3(Fe)	Al-Si-Cu 系	ADC10 より耐鋳造割れ及び耐食性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si9Cu3FeZn 種	Al Si9Cu3(Fe)(Zn)	Al-Si-Cu 系	ADC10 より耐鋳造割れ及び耐食性が劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si11Cu2Fe 種	Al Si11Cu2(Fe)	Al-Si-Cu 系	機械的性質、被削性、鋳造性がよい。
アルミニウム合金ダイカスト Si11Cu3Fe 種	Al Si11Cu3(Fe)	Al-Si-Cu 系	機械的性質、被削性、鋳造性がよい。
アルミニウム合金ダイカスト Si12Cu1Fe 種	Al Si12Cu1(Fe)	Al-Si-Cu 系	ADC12 より伸びは幾分よいが、耐力はやや劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Si17Cu4Mg 種	Al Si17Cu4Mg	Al-Si-Cu-Mg 系	耐摩耗性がよく、湯流れ性がよく、耐力が高く、伸びが劣る。
アルミニウム合金ダイカスト Mg9 種	Al Mg9	Al-Mg 系	ADC5 と同様に耐食性はよいが、鋳造性が悪く、応力腐食割れ及び経時変化に注意が必要。

4. **材料** 材料は、JIS H 2118 の規定による。受渡当事者間の協定によって、JIS H 2211 の規定による鋳物用アルミニウム合金地金も用いることができる。

5. **品質** ダイカストの品質は、次による。

- a) ダイカストの外観は、表面が平滑で、有害な割れ、鑄巣などの欠陥があってはならない。
- b) ダイカストは、埋め金、溶接などによって補修してはならない。ただし、欠陥部分が小さくて注文者が使用上差し支えないと認めたときは、補修することができる。

なお、注文者の承認を得て漏れ止めの処理を行うことができる。

- c) 化学成分は、表 2 による。表 2 に規定していない化学成分については、受渡当事者間の協定による。JIS H 2211 に規定された材料を使用する場合は、受渡当事者間の協定による。
- d) 機械的性質は、受渡当事者間の協定による。

表 2 化学成分

記 号	化学成分 (質量%)											
	Cu	Si	Mg	Zn	Fe	Mn	Cr	Ni	Sn	Pb	Ti	Al
ADC1	1.0 以下	11.0～13.0	0.3 以下	0.5 以下	1.3 以下	0.3 以下	—	0.5 以下	0.1 以下	0.20 以下	0.30 以下	残部
ADC3	0.6 以下	9.0～11.0	0.4～0.6	0.5 以下	1.3 以下	0.3 以下	—	0.5 以下	0.1 以下	0.15 以下	0.30 以下	残部
ADC5	0.2 以下	0.3 以下	4.0～8.5	0.1 以下	1.8 以下	0.3 以下	—	0.1 以下	0.1 以下	0.10 以下	0.20 以下	残部
ADC6	0.1 以下	1.0 以下	2.5～4.0	0.4 以下	0.8 以下	0.4～0.6	—	0.1 以下	0.1 以下	0.10 以下	0.20 以下	残部
ADC10	2.0～4.0	7.5～9.5	0.3 以下	1.0 以下	1.3 以下	0.5 以下	—	0.5 以下	0.2 以下	0.2 以下	0.30 以下	残部
ADC10Z	2.0～4.0	7.5～9.5	0.3 以下	3.0 以下	1.3 以下	0.5 以下	—	0.5 以下	0.2 以下	0.2 以下	0.30 以下	残部
ADC12	1.5～3.5	9.6～12.0	0.3 以下	1.0 以下	1.3 以下	0.5 以下	—	0.5 以下	0.2 以下	0.2 以下	0.30 以下	残部
ADC12Z	1.5～3.5	9.6～12.0	0.3 以下	3.0 以下	1.3 以下	0.5 以下	—	0.5 以下	0.2 以下	0.2 以下	0.30 以下	残部
ADC14	4.0～5.0	16.0～18.0	0.45～0.65	1.5 以下	1.3 以下	0.5 以下	—	0.3 以下	0.3 以下	0.2 以下	0.30 以下	残部
Al Si9 ⁽¹⁾	0.10 以下	8.0～11.0	0.10 以下	0.15 以下	0.65 以下	0.50 以下	—	0.05 以下	0.05 以下	0.05 以下	0.15 以下	残部
Al Si12(Fe) ⁽²⁾	0.10 以下	10.5～13.5	0.10 以下	0.15 以下	1.0 以下	0.55 以下	—	—	—	—	0.15 以下	残部
Al Si10Mg(Fe) ⁽¹⁾	0.10 以下	9.0～11.0	0.20～0.50	0.15 以下	1.0 以下	0.55 以下	—	0.15 以下	0.05 以下	0.15 以下	0.20 以下	残部
Al Si8Cu3 ⁽²⁾	2.0～3.5	7.5～9.5	0.05～0.55	1.2 以下	0.8 以下	0.15～0.65	—	0.35 以下	0.15 以下	0.25 以下	0.25 以下	残部
Al Si9Cu3(Fe) ⁽²⁾	2.0～4.0	8.0～11.0	0.05～0.55	1.2 以下	1.3 以下	0.55 以下	0.15 以下	0.55 以下	0.25 以下	0.35 以下	0.25 以下	残部
Al Si9Cu3(Fe)(Zn) ⁽²⁾	2.0～4.0	8.0～11.0	0.05～0.55	3.0 以下	1.3 以下	0.55 以下	0.15 以下	0.55 以下	0.25 以下	0.35 以下	0.25 以下	残部
Al Si11Cu2(Fe) ⁽²⁾	1.5～2.5	10.0～12.0	0.30 以下	1.7 以下	1.1 以下	0.55 以下	0.15 以下	0.45 以下	0.25 以下	0.25 以下	0.25 以下	残部
Al Si11Cu3(Fe)	1.5～3.5	9.6～12.0	0.35 以下	1.7 以下	1.3 以下	0.60 以下	—	0.45 以下	0.25 以下	0.25 以下	0.25 以下	残部
Al Si12Cu1(Fe) ⁽²⁾	0.7～1.2	10.5～13.5	0.35 以下	0.55 以下	1.3 以下	0.55 以下	0.10 以下	0.30 以下	0.10 以下	0.20 以下	0.20 以下	残部
Al Si17Cu4Mg	4.0～5.0	16.0～18.0	0.45～0.65	1.5 以下	1.3 以下	0.50 以下	—	0.3 以下	0.3 以下	—	—	残部
Al Mg9 ⁽¹⁾	0.10 以下	2.5 以下	8.0～10.5	0.25 以下	1.0 以下	0.55 以下	—	0.10 以下	0.10 以下	0.10 以下	0.20 以下	残部

注⁽¹⁾ その他の化学成分は，表中で“—”で示し成分値を規定していない化学成分も含み，個々の成分が 0.05 %以下，合計で 0.15 %以下とする。

注⁽²⁾ その他の化学成分は，表中で“—”で示し成分値を規定していない化学成分も含み，個々の成分が 0.05 %以下，合計で 0.25 %以下とする。

6. 形状, 寸法

- a) ダイカストの形状は, 図面又は模型による。
- b) ダイカストの寸法は, 図面による。寸法許容差は, 注文者の指定による。特に指定がない場合には, 寸法許容差は, **JIS B 0403** の規定を適用する。

7. 試験

7.1 分析試験 化学成分の分析試験は, 次による。

- a) 化学成分の分析方法は, 次による。

JIS H 1305, JIS H 1306, JIS H 1307, JIS H 1352, JIS H 1353, JIS H 1354, JIS H 1355, JIS H 1356, JIS H 1357, JIS H 1358, JIS H 1359, JIS H 1360, JIS H 1361, JIS H 1366

- b) **表 2** に規定していない化学成分の分析方法は, 受渡当事者間の協定による。
- c) 分析試料は, **JIS H 0321** に従い採取する。

7.2 機械試験 機械試験は, 受渡当事者間の協定による。

8. 検査 検査は, 次による。

- a) 一般事項は, **JIS H 0321** による。
- b) 外観, 形状及び寸法の検査をするとともに, 7.によって試験を行い, 5.及び 6.の規定に適合しなければならない。

9. 表示 ダイカスト又はそのこん包容器には, 貼付ラベルなど適切な方法によって次の事項を表示する。

- a) 規格番号及び種類又はその記号
- b) 製造番号
- c) 製造業者名又はその略号

10. 報告 製造業者は, 注文者の要求がある場合, 化学分析試験の試験成績書を提出する。

附属書 1（参考） 使用部品例

この附属書は、アルミニウム合金ダイカストの使用部品例を示すものであり、規定の一部ではない。

附属書 1 表 1 使用部品例

ADC10, ADC10Z, ADC12, ADC12Z

用途	部品例
自動車	ウォーターポンプカバー、ウォーターアウトレットパイプ、ウォーターインレットハウジング、ウォーターアウトレットハウジング、エンジンマウントブラケット、AC ジェネレータハウジング、エアフローメータハウジング、オイルパン、オイルポンプ本体、オイルシールリテーナ、オイルポンプブラケット、カムシャフトベアリングキャップ、キャブレタ、シリンダブロック、シリンダヘッドカバー、スーパーチャージャ（ハウジング、ロータ）、チェンカバー、ディストリビュータハウジング、バルブロッカーアーム、ファンカップリング、フェUELデリバリーパイプ、インテークマニホールド、トランスミッションケース、エクステンションハウジング、エアブレイキ用ピストン、エアコンプレッサハウジング、オートマチックトランスミッションバルブボディ、カークーラーシリンダブロック、クラッチハウジング、コンバータハウジング、ステアリングギヤハウジング、スタータモータハウジング、トラック・ステップ、トルクコンバータステータ、ホイールキャップ、オルタネータブラケット、ミッションシフトフォーク、ルームミラー、アダプタケース、エアアウトレット・インレット、エクステンションリヤ、オイルポンプケース、オートマチックトランスミッションケース、カムブラケット、サイドミラー、シートフレーム、スロットルボディ、ディファレンシャルカバー・ケース、トランスミッションカバー、ハウジングコンバーター、パワーステアリングポンプ、ラダフレーム、ロッカーカバー、ピストン、噴射装置コンピュータケース
二輪車	ショックアブソーバ・ケース、サイドカバー、クランクケース、クランクケースカバー、シリンダボディ、ヘッドシリンダ、ハウジングシャフトドライブ、プレートブレーキシュー、プレートプレッシャ、ハウジングチェン、アッパーケース、オイルパン、シリンダバレル、シリンダヘッドカバー、ダイナモカバー、チェンケース、ブラケット、フレーム、フロントパネル、ホイールハブ、ライトカバー・ケース、レフトカバー・ケース、ロアーケース
雪上車	クランクケース、シリンダ、シリンダヘッド、アッパーケース、フレーム、ライト・レフトカバー、ライトケース、リアパネル、ロアーケース
はん用エンジン	シリンダバレル、ミッションケース、コンロッド、クランクケースカバー、シリンダブロック・ヘッド
ブルドーザ	ベース、オイルフィルタ
船外機	ケーシングロア、ケーシングアッパ、エクステンション、ボトムカップリング、オイルパン、クランクケース、エンジン用シリンダ、ミッションケース、ブラケット、クランクケースカバー、コンロッド、シリンダーバレル・ブロック・ヘッドカバー

附属書 1 表 1 使用部品例 (続き)

用途	部品例
農業機械	
(バインダ)	結束ケース, ひも掛ガイドプレート, トランスミッションケース, 搬送駆動ケース, 引越しギヤケース
(トラクタ)	動力取出しケース, トランスミッションケース, デフギヤケース, クラッチハウジング, 推進軸ケース, オイルパン, ステアリングギヤボックス, チェンケース, デフレシヤルカバー, ドアヒンジ, ドアロック, トランスファーケース, トランスミッションカバー, パルプボディ, フロントケース, マニュアルトランスミッションケース, ロッカーカバー
(ハーベスタ)	パッカーアーム, トランスミッション, 結束ケース, 搬送フレーム
(田植え機)	植付けアーム, フィードケース, 植付けケース, ステアリングギヤケース, 後車軸ケース
(テーダ, 管理機, 耕うん機)	トランスミッションケース, ロータリーケース, 副チェンケース, シリンダブロック, フロントケース, マニュアルトランスミッションケース,
(歩行モータ)	カッタハウジング, トランスミッションケース
(コンバイン)	パッカーギヤケース, 扱胴ベベルケース, 排こう (藁) ギヤケース, 処理胴ギヤケース, トランスミッションケース
AV 機器	VTR フレーム, VTR シリンダベース, VTR カメラ, 鏡体, ステレオターンテーブル, CD ピックアップ, DVD ピックアップ, PDP フレーム
コンピュータ関連	床板, ディスクドライブフレーム, 光ヘッド, プリンタプラテンロール, 複写機, ドラムフランジ
通信機器	無線電話フレーム, 衛星放送アンテナ導波管, ケーブルジョイント
ちゅう房機器	電熱器ヒータベース, ガス機器コック, ファンヒータ気化筒
コンプレッサ	コンロッド, ヘッド, ケース, ピストン
モータ	ハウジング, ブラケット, 軸受け
リール	ボディ, ドラム
カメラ	本体, 前板ミラーボックス
顕微鏡	アームベース, 双眼鏡筒, プリズムホルダ, プリズムシート
ミシン	アーム, ベッド, ベース, 面板, 天板, モータカバー
電動工具	カバー, ケース
シネカメラ	本体, レンズホルダ, 接眼鏡筒, プリズムホルダ
ガス器具	上下ケース, カバー, 分配室, コック本体, 閉子
空圧バルブ	ボディ, ベース, カバー
スプレーガン	ボディ, エアガンボディ
エスカレータ	クリート, ライザ, ローラーボス
くぎ打機	ボディ本体, カバー
測量機	カバー本体
産業用機械	フロントカバー, サイドカバー
油圧ポンプ	ブラケット
パイプマシン	主軸台, ベース
信号機	カバー, ケース

附属書 1 表 2 使用部品例

ADC1, ADC 3, ADC 5, ADC 6, ADC 14

用途	部品例
ADC1	
自動車	メインフレーム, フロントパネル
ホームベーカー用	内がま (釜)
建築材料	エスカレータ部品
ADC3	
自動車	ホイールキャップ, エンジンマウントブラケット
二輪車	ブラケットマフラ, クランクケース (アッパ, ロア), ブラケット, ホイール, フレーム
自転車	ホイール
船外機	ケース
ADC5	
船外機	プロペラ, シリンダ, インペラ
農機具	振動アーム, つめ押え板, 植付けアーム
釣具	ベールアームレバー, クリック, スプール
ADC6	
二輪車	バンドレバー, ウィンカホルダ, ウィンカベース, フットレスト, ハウジングクラッチ, ブラケットマフラ, ピストン, クランクケース, シグナルランプ, ブレーキレバー, クラッチレバー
船外機	プロペラ, ケースウォーターポンプ, プロテクタバーエンド
電算機	磁気ディスク装置, キャリッジ
ゴルフ用品	メタルヘッド, ソールカバー
ADC14	
自動車	オートマチックトランスミッション用オイルポンプボディ, ハウジング, カーケーラコンプレッサハウジング, カーケーラシリンダブロック, ミッションシフトフォーク
二輪車	インサート, ハウジングクラッチ

附属書 2（参考）JIS と対応する国際規格との対比表

JIS H 5302：2006 アルミニウム合金ダイカスト					ISO/FDIS 3522:2006, アルミニウム及びアルミニウム合金－鋳物－化学成分及び機械的性質		
(Ⅰ) JIS の規定		(Ⅱ) 国際規格番号	(Ⅲ) 国際規格の規定		(Ⅳ) JIS と国際規格との技術的差異の項目ごとの評価及びその内容 表示箇所：本体 表示方法：側線又は点線の下線		(Ⅴ) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
項目番号	内容		項目番号	内容	項目ごとの評価	技術的差異の内容	
1.適用範囲	アルミニウム合金ダイカストについて規定。	ISO 3522	1	ダイカストを含めたアルミニウム鋳物全体について、化学成分を規定するとともに、鋳物については、別鋳込み試験片の機械的性質を規定。	MOD/削除	JIS は、アルミニウム合金鋳物の中で、ダイカストに限定して規定。	我が国では、使用者の利便性を考慮し、JIS H 5202（アルミニウム合金鋳物）及び JIS H 5302（アルミニウム合金ダイカスト）の 2 規格に分けて規定。 JIS H 5302 は、化学成分、外観、形状寸法、試験、検査、表示などを規定。 今後、強度などの性能面も順次規定に加える予定。
2.引用規格	— JIS B 0403, JIS H 0321 ほか、合計 18 規格。		2	ISO 2378, ISO 2379, ISO 6506-1, ISO 6892 —	MOD/削除 MOD/追加	— —	
—	—		3	用語の定義を規定。	MOD/削除	—	JIS は、この規格での用語定義は不要。
3.種類及び記号	従来の JIS 合金と ISO 規格のダイカスト合金の両方の種類を規定。		4	分類：ダイカストを含めたアルミニウム合金鋳物全体の命名法を規定。 4.1 合金記号 4.2 質別記号 4.3 鋳造方法の表示記号	MOD/削除 MOD/追加	JIS は、ISO 規格のダイカスト以外の種類を削除し、従来 JIS のダイカストの種類を追加。	JIS は、従来からの商習慣尊重のため、既存 JIS 合金ダイカストの大幅な変更は行わない。ただし、環境対応、品質・規格対応などの必要な変更には積極的に対応するとともに、必要に応じて ISO 規格への JIS 合金導入努力も継続する。

(Ⅰ) JIS の規定		(Ⅱ) 国際規格番号	(Ⅲ) 国際規格の規定		(Ⅳ) JIS と国際規格との技術的差異の項目ごとの評価及びその内容 表示箇所：本体 表示方法：側線又は点線の下線		(Ⅴ) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
項目番号	内容		項目番号	内容	項目ごとの評価	技術的差異の内容	
4.材料	JIS H 2118 又は JIS H 2211 による地金を規定。		—	—	MOD/追加	—	JIS としての必要項目追加。ISO 規格でも追加される予定。
5.品質	a) 表面状態を規定, b) 補修について規定。		—	—	MOD/追加	—	JIS としての必要項目追加。ISO 規格への追加を提案する。
	c) 化学成分を規定		5.1	ダイカストを含めたアルミニウム合金鋳物全体の化学成分を規定。	MOD/削除	JIS は、ISO 規格のダイカスト以外の規定を削除し、従来 JIS の規定を追加。	3.の(V) 参照。
	d) 機械的性質を規定 受渡当事者間の協定による。		6 6.1	機械的特性 ダイカストを含めたアルミニウム合金鋳物全体の機械的性質を規定。ただし、ダイカストは、規定でなく指針を記載。	MOD/削除 MOD/変更	JIS は、ISO 規格の規定を削除。	ISO 規格のダイカストの機械的性質の指針値は、極めて良質な別鋳込み試験片によるものであり、製品から切り出し試験片に適用することができない。今後、JIS として規定値を検討する。
6.形状, 寸法	形状, 寸法について規定。		—	—	MOD/追加	—	JIS として必要な項目を追加。ISO 規格への追加の提案を検討する。
7.試験	化学成分の試験方法及び分析試料の採取方法を規定。		5.2	分析試料の採取及び試験方法は、各国の規格の使用を推奨することを規定。	MOD/追加	—	JIS として必要な項目を追加。
	機械試験は、受渡当事者間の協定による。		6 6.2 6.3 6.4	機械的特性 引張試験方法を規定。 試験片の採取法を規定。 硬さ試験方法を規定。	MOD/変更	—	ISO 規格では、ダイカスト以外は、機械的性質を規定しているので、試験方法の規定が必要。JIS は、受渡当事者間の協定による、としているため、試験方法も受渡当事者で決める、としている。

(Ⅰ) JIS の規定		(Ⅱ) 国際規格番号	(Ⅲ) 国際規格の規定		(Ⅳ) JIS と国際規格との技術的差異の項目ごとの評価及びその内容 表示箇所：本体 表示方法：側線又は点線の下線		(Ⅴ) JIS と国際規格との技術的差異の理由及び今後の対策
項目番号	内容		項目番号	内容	項目ごとの評価	技術的差異の内容	
8.検査	外観、寸法等の検査について規定。		—	—	MOD/追加	—	JIS として必要な項目を追加。ISO 規格への追加の提案を検討する。
9.表示	ダイカスト又はこん包容器への表示事項を規定。		—	—	MOD/追加	—	JIS として必要な項目を追加。ISO 規格への追加の提案を検討する。
10.報告	注文者の要求による化学成分試験成績書提出を規定。				MOD/追加		JIS として必要な項目を追加。ISO 規格への追加の提案を検討する。

JIS と国際規格との対応の程度の全体評価：MOD

備考1. 項目ごとの評価欄の記号の意味は、次のとおりである。

- IDT…………… 技術的差異がない。
- MOD/削除…………… 国際規格の規定項目又は規定内容を削除している。
- MOD/追加…………… 国際規格にない規定項目又は規定内容を追加している。
- MOD/変更…………… 国際規格の規定内容を変更している。

2. JIS と国際規格との対応の程度の全体評価欄の記号の意味は、次のとおりである。

- MOD…………… 国際規格を修正している。